

令和5年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立 花畑北 中学校 校長 浅香 英典

1 学校教育目標

- 深く考え、自ら学ぶ人
- 自他を尊重する心豊かな人
- 心身ともにたくましい人

2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

- ① 学校の図書館を活用し、読書の楽しさを教え、心豊かな生徒を育てる。
- ② 学校図書館の情報を効果的に活用し、主体的に学び、表現できる生徒を育てる。
- ③ 読書に親しみ、読書習慣を身に付けさせる。

3 学校図書館の現状（令和4年度末）

蔵書状況	① 蔵書数	冊(蔵書基準冊数 冊) / 蔵書率 % (前年度末 %)								
	② 新規購入図書	冊 / 廃棄図書 冊 / 増減冊数 冊								
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合										
*国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%
利活用の状況	① 開館時間：									
	② 生徒一人あたりの年間平均貸出冊数	冊 (前々年度末： 冊)								
	③ 学校図書館利用率	% (前々年度末： %)								

(令和5年度末)

蔵書状況	① 蔵書数	冊(蔵書基準冊数 冊) / 蔵書率 %								
	② 新規購入図書	冊 / 廃棄図書 冊 / 増減冊数 冊								
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合										
*国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%
利活用の状況	① 開館時間：	(前年度からの変更 あり・なし)								
	② 生徒一人あたりの年間平均貸出冊数	冊 (前年度末： 冊)								
	③ 学校図書館利用率	% (前年度末： %)								

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	<ol style="list-style-type: none"> ① 読書週間の定着を図るとともに、読書に親しむ意欲を育成する。 ② 学校図書館を活用した調べる学習を通して、問題発見・解決能力の育成を図る。 ③ 日本十進分類表の意味を教え、図書の借り方や扱い方等、正しく利用する態度を育てる。
------	---

今年度の成果目標

- ① 休み時間や放課後の時間等、主体的に学校図書館を活用して、読書ができる。
- ② 図書館の本や新聞等を活用しながら調べる学習を進め、課題に対して自分の考えをまとめ、表現することができる。
- ③ 学校図書館の決まりや仕組みを知り、的確に図書を探せる。

達成基準

- ① 第1学年の生徒一人当たりの年間平均貸出冊数前年度比10%増
- ② 学年生徒の調べる学習コンクール参加率50%以上
- ③ 学校図書館オリエンテーションの学年全生徒の受講率100%

目標達成状況

- ①
- ②
- ③

第2学年	① 読書の幅を広げようとする意欲を育てる。 ② 課題解決のために学校図書や ICT 機器を使い分けることによって、情報を取捨選択する能力を身に付ける。 ③ 学校図書館のより良い運営について考えることにより、規範意識を育てる。
今年度の成果目標 ① 休み時間や放課後の時間等、主体的に学校図書館を活用して、読書ができる。 ② 課題解決のために、本や新聞、ICT 機器の情報を使い分け、探求することができる。 ③ 学校図書館の分類方法等を理解し、適切な本の選択をすることができる。	達成基準 ① 第2学年の生徒一人当たりの年間貸出冊数前年度比5%増。 ② 学年生徒の調べる学習コンクール参加率60%以上。 ③ 課題解決学習の授業を年10回以上。
目標達成状況	
① ② ③	
第3学年	① 読書を通して、様々な考え方に触れ、考えを深める意欲を育てる。 ② 学校図書や ICT 機器を活用した課題解決学習を通して、言語能力の育成を図る。 ③ 学校図書館の運営に主体的に参加し、社会性を養う。
今年度の成果目標 ① 休み時間や放課後の時間等、主体的に学校図書館を活用して、読書ができる。 ② 課題解決のために、本や新聞、ICT 機器の情報を使い分け、探求したことを発表することができる。 ③ 日本分類十進法を理解し、新着図書の分類をスムーズに行うことができる。	達成基準 ① 第3学年の生徒一人当たりの年間貸出平均冊数前年度比5%増。 ② 学年生徒の調べる学習コンクール参加率70%以上。 ③ 課題解決学習の授業を年10回以上。
目標達成状況	
① ② ③	
5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果	
取組計画・方針	成果・効果
【蔵書・配架等に関すること】 ① 文学の蔵書が多い傾向があるので、技術、産業の蔵書を増やしていく。 ② 昨年度に引き続き、職員室前の移動図書館を展開していく。	
【学校図書館支援員との連携・協働】 ① 学校図書館オリエンテーションを、支援員と連携・協働して取り組む。 ② 調べ学習の資料などについて積極的に支援員へ相談や情報交換を行う。 ③ 読み聞かせ教室の実施に向けて支援員と相談、情報交換を行う。	
【その他】 ① 年度末の貸出図書返却率が100%となるように取り組む。	

6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）